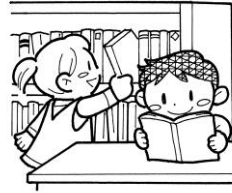


図書だより



令和4年12月22日

担当 山本 尚美

No.8

2学期が終わります。来年もよろしくお願いします。

今年も図書館に足を運んで、たくさん本を借りてくれる子が増えました。ありがとうございました。11月にファミリー読書の取り組みをしました。学年部ごとに少しですが紹介したいと思います。

最初は低学年からです。

飼っている虫が死んでしまったとき土に埋めたら他の生き物になって生きるよとよく話していたので、その話と絵本の内容がリンクすればいいなと思いました。(キツネ 命はめぐる)

とても優しい話で、誰かを助ける場所になるのがすきというかさの気持ちにほっこりしました。4年前越してきて驚いたことがあり、それが「かさ事情」です。大雨でない限りかさをささない人が多いのにびっくり。でも、たまには誰かと一緒に入って歩きたいなと思いました。(大きいかさ)

色をテーマに全てが食べ物で作られた世界が写真で楽しめます。「食べたい!」とわくわくした気持ちで読みました。本は心を豊かにしてくれます。(もしもせかいがたべものでできていたら)

殿様と家来が歌いながらお餅をつく場面を子どもと一緒にリズムに乗りながら歌にして読み話の内容も面白く、私も楽しんで読めました。(おもちぶとん)

「そんなわけない!」とか「あらー」と思ったことを口にしながらかみ、興味深く読み聞かせができました。(大きな木)

地震の仕組みを理解し、地震の怖さを感じられたことがよく伝わります。絵も上手に描けていました。(じしんのサバイバル)

「もちもちぱんだ」というキャラクターの色々なことがわかる本です。パンダ好きの人、可愛い物が好きな人にはたまらない本で、一緒にわいわい楽しく読めました。(もちぱんだ百科)

苦しい状況でも、仲間を信じて助け合い、困難に立ち向かっていく犬たちの姿に心打たれました。これから先の子どもの道標となるような本だなあと思い、何度も大事に読んでいこうと思いました。(南極物語)

たくさんのおじいちゃんたちが登場してきました。自分のおじいちゃんやひいおじいちゃんを思い出してその昔はどんなふうだったのかな?と想像しながら読みました。みんなのひいひい……ひいおじいちゃんはおさるさん?おもしろい絵本でした。(おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん)

それぞれアメリカとインドに住んでいる男の子。家族のことや学校のこと、同じようで違う。「住んでいる世界はちょっと違うけど僕たち友達だね。」と仲良くなれるところがいいですね。

(おんなじおんなじでもちょっとちがう)

いつも泣き虫だったピピが友達と離れて1人で旅をすると決めたのに驚きました。いっぱい悩んで、でも自分や友達のために何をすべきか考えて行動できたピピはすごいと思います。続きも一緒に読んでみます。(まじょねこぴび)

読むことが苦手な息子。よく読んで聞かせている本ですが、全部1人で読むのは大変で、役ごとに分けて読みました。お互いにかけて合いをしながら読むことで息子も内容を理解できているようでした。私は、こうして一緒に読むことが幸せだなとも感じました。(そりあそび)

ノラネコ軍団、いつ読んでもおもしろいね。間違えたらちゃんと謝るのはえらいよね。(ノラネコ軍団うみのたび)

しろしろは、少しおっちょこちょいなどころがあるけど、いつも一生懸命で頑張り屋さんでページをめくるのが楽しくなる一冊でした。(ペンキやしろしろ)

生きかえることはなかったのはなぜかな?答えはわからなかった。息子自身私自身それぞれの思いで人としての思いやり、大切な感情を話せる題でした。(百万回生きたねこ)

保護者の方がお忙しい中でも、時間をつくってお子さんに読み聞かせをされていたことがわかりました。ご協力をいただきありがとうございました。次回は中学年です。